

「はしのうえのおおかみ」

(参観のキーワード: 役割演技 やさしさ 親切)

— 学習すること (ねらい) —

◎身近な人たちに温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。



— ねらいとする道徳的価値は —

親切、思いやり

親切・思いやりは、人間関係を築くための基本的な姿勢の在り方といえます。それは、単に自分の思い込みや自己満足のためではなく、相手の立場に立ってその心情を思い、自分のこととして受け止めることが大切です。

学校、クラスでの生活が身についてきたこの時期に、相手のことを考える温かい気持ちや親切な行為について考えられるようにしたいです。

— この授業で使う資料について — (出典:「どうとく」 1年 東京書籍)

主人公のおおかみが、うさぎたちを相手におもしろがっていじわるを続けるが、今度は自分がそうされると思ったくまに親切にされ、自分の行為を振り返り、優しい心で親切にするという内容です。この資料を通して、温かい心で人に親切にすることの気持ち良さ、大切さを感じ取ってほしいです。

— 学習活動と主な発問 —

1. 親切にしてもらって、うれしかった経験を発表する。

- 他の人から親切にしてもらって、うれしかったことはありますか。

2. 資料「はしのうえのおおかみ」を読み、役割演技をしておおかみ気持ちの変化について話し合う。

- うさぎ、きつね、たぬきを追い返したとき、おおかみはどんな気持ちでしたか。
- くまに出会ったとき、おおかみはどう思いましたか。
- ◎ くまの後ろ姿を見送りながら、おおかみはどんな気持ちだったのでしょうか。
- くまと同じようにしてうさぎを渡らせたとき、おおかみが前よりずっといい気持ちだったのは、どうしてでしょう。おおかみさんになって考えましょう (役割演技)

3. 自分の生活を振り返り、親切に関する経験を振り返る。

- これまで、やさしくしたこと、やさしくしようと思ったことは、ありませんでしたか。

4. 教師から、親切についての話を聞く。



— 子どもたちのこんな姿を期待します —

おおかみの気持ちの変化を考えながら、人に親切にするとどんな気持ちになるか、実感を伴って考えてほしいです。